



私達の暮らす自然豊かな学校、長岡中学校ではなんと敷地内で地層を見ることができちゃいます!そこで、私達は長岡中の地層を調査してここが大昔どんな場所だったのかを突き止めることにしました。



斜交層理ってなに?

説明しよう!

斜交層理(しゃこうそうり)とは斜めのしま模様の地層で水の流れがあった証拠なんだ!!

つまりこの斜交層理がある長岡中は昔、水の中であった可能性が高いんだ!

長中を調査していると、三ヶ所の露頭を発見!しかもそのどれもが斜交層理だった!



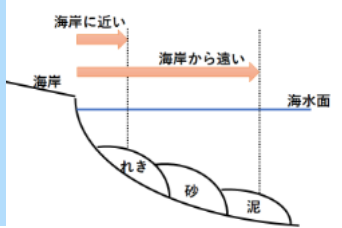
↑これ全部斜交層理!↑

斜交層理を見つけられたおかげで海中であることが分かった。けれど、今度はこの海がどんな海だったのかが気になる。発見した地層をもっと詳しく見てみよう!



地層を観察するために土を少しだけ削ってみることに。削った土をよく見てみると、2ミリ以上の礫が集まっている!

(礫は海に流れ着いた時に浅い所にたまるのが分かってるよ!)



地層をもっとよく観察してみると、何やら水がしみ出ている所が.....、つまりここは水はけが良い事がわかる。礫や砂礫があるから水はけが良いみたいだ。

水がしみてる! →



地層で礫(れき)を見つけたから、ここは海の中でも浅い海の中であったことが分かったよ!



調査結果報告

調査の結果、たくさんの地層などを見つけ、この長岡中が大昔海の中、それも浅い海であったことがわかりました!

昔は海の中でしたが色々な自然現象が起きて今の私達の過ごす場所になったと考えられます。